

第5回 花火大会検証会議

会議録

【日時】令和6年11月19日（火）13:30～15:30

【場所】京都府立中丹勤労者福祉会館（2階）

【出席者】（委員） 7名（別紙参照）

（事務局）産業政策部 西畑部長

産業観光課 大江課長、田中係長

（関係機関）福知山警察署、福知山消防署

1 開会

2 開会挨拶

会 長：大変寒い中、ご参集いただきありがとうございます。本日の5回目の会議である程度方向性を見ていき、次回の会議に繋げていきたいと思う。前回の会議では、現地検証結果（案）を議論いただいた。その後、実行委員会、福知山市、関係機関への確認事項の回答、実行委員会の事業報告書、経済波及効果の分析報告を事務局から説明していただき、花火大会が安心安全に開催できていたか、今後の花火大会のあり方について議論を行った。本日は前回の会議を踏まえて、現地検証結果（最終案）を事務局より説明していただき、現地検証結果を決定したいと思う。そして、今後の花火大会のあり方について、花火大会の規模や市の関わり方、露店などについて再度議論していきたいと思う。その後、本日の議論までの経過等、検証結果報告書（案）の協議を深めていきたい。

3 説明事項

（1）福知山HANABI2024現地検証結果（最終案）について

事務局：資料1に基づき「福知山HANABI2024現地検証結果（最終案）について」説明

会 長：説明事項（1）について、委員の方から質問やご意見はあるか。

副会長：5ページのチェック箇所各ゲートのチェック項目その他について、2つ所見として挙がっており、1つの所見がシートに関する事項となっている。各ゲートという項目でまとめるよりも有料観覧席の項目でまとめたほうが適切だと思う。評価についても有料観覧席のチェック項目はBのため、評価との関わりで

も特に問題ないと思う。各ゲートのもう一つの所見はゲートの問題であると思うが、これだけをその他でくくるのもどうかと思うので、全体のその他に移動してもいいと思う。

会 長：先ほどご指摘があった点について、委員の方のお考えはあるか。シートの件に関しては有料観覧席のチェック箇所に移動させ、ゲートに関しては、15 ページのチェック箇所（6）その他に移動させ、5 ページ目は無くなる方向になると思う。これについていかがか。

事務局：先ほどのお話だが、有料観覧席のどのチェック項目に追記すればよいのか。13 ページのトイレの設置数や照明のチェック項目と 14 ページの照明の明るさのチェック項目、どちらに追記すればよいのかご回答願いたい。

副会長：内容的には有料観覧席のその他に追記できないのかなと思う。

事務局：有料観覧席のその他の項目を作るということでよいか。

副会長：よい。

会 長：他の委員の方いかがか。どの辺に入れるのかテクニカルなものであるが、13 ページのチェック箇所有料観覧席のチェック項目①トイレの設置数や照明、②照明の明るさとあるが、次に③その他の項目を作ってシートについて記載し、更に 15 ページのチェック箇所その他のチェック項目①当日気付いた点にゲートについて記載するというでよいか。

委 員：相談だが、そもそも 1 つ目のシートについての項目は必要であるのか。基準が分からなかった、分からせる必要があったのかということは、花火大会の検証会議の議題とは関係なくただの疑問点だと思う。これに関しては、次回の花火大会の有料観覧席のシート等の仕様を実行委員会がチケット販売時に明記するのであれば、残すべき項目かもしれないが、そうでなければこれ自体無くしてしまってもいいのかなと思う。ただ、2 つ目のゲートについての項目は、チェック箇所ゲートのどこかに書くほうがよいと思う。

会 長：他の委員の方はいかがか。

委 員：この所見を書いたのは私であるが、単純にどうなのかなと思っただけであるので、別に有料観覧席の所に書かなくてもよいと思う。その他に記載してもしなくてもどちらでも構わない。

会 長：他の委員の方はいかがか。

副会長：私も無しで構わない。必ず記載事項を移動させるという意味ではない。

会 長：それであれば、シートの項目は所見から外し、ゲートの項目はその他に移動するというにすることにする。現場の様子の写真があるが、削除し、5 ページ目は無くなるということにし、ゲートの退場については、その他に入ることになると思うが、それでよいか。

委 員：よい。

会 長：他に気付いた点などはないか。前回欠席された委員の方からご意見やご感想があれば、是非お願いしたい。

委 員：12 ページのチェック箇所 御霊公園のチェック項目その他について、以前も話したことだが、御霊公園内の遊具の夜間利用が散見されたとあった。この部分が所見の所で次の開催までに改善できるのであればあってもいいと思う。残しておく必要もないし、これは悪かった点で対応できるということがあるので、所見の所で改善項目という形で挙げるほうがビジュアル的にはいいのかなと思う。

会 長：先ほど意見があったが、12 ページの御霊公園の部分において、遊具の夜間利用の記載は 12 ページ内の所見に入れるということになると思う。特に評価が C であるため重要であり、改善しなければ大きな問題になる可能性がある。他の委員の方はよいか。

委 員：よい。

会 長：御霊公園のチェック項目その他の悪かった点の遊具の夜間利用を所見に入れ、評価は C のままにし、強く改善を求めていくという形にしていきたいと思う。他にご意見はあるか。ご意見がなければ、現地検証結果は先ほど修正した部分もあるが、これで決定したいと思う。委員の皆様よいか。

委 員：よい。

会 長：では、現地検証結果の承認をいただいたので、最終案の削除をお願いしたいのと先ほど修正が入ったので、もう一度委員の方々に修正したものを見せていただき、確定ということにしたい。

（２）今後の検証会議の進め方について

事務局：資料 2 に基づき「今後の検証会議の進め方について」説明

会 長：説明事項（２）について、委員の方から質問やご意見はあるか。市長へ提出する検証結果の報告書について、協議を進めていきたいが、本日で終わらないと思うので、12 月の大変お忙しい中だが、皆様にもう一度お集まりいただき、検証結果報告書の最終案を検討し、その後市長に検証結果の報告書を提出するという形になると思うが、この日程でよいか。

委 員：よい。

会 長：では、この日程で進めていただくよう事務局をお願いしたいと思う。第 6 回の会議を 12 月 5 日に開催して、12 月以降に報告書を市長に提出したいと思う。

４ 協議事項

（１）今後の花火大会のあり方について

会 長：前回、委員の皆様から議論すべき項目として挙げていただいた 6 つの項目につ

いて議論していただいた。項目は①花火大会の規模について、②市の関わり方について、③有料観覧席について、④露店について、⑤堤防天端のチケット所有者以外の立入りについて、⑥広小路通りから堤防天端に向かう交差点での雑踏状況についてと広小路通りでの観覧者と歩行者の整理についての 6 項目である。前回の会議では委員の皆様からご意見をいただき、各項目に対するおおよその方向性というものを決定した。また、会議後に追加のご意見などを委員の皆様からいただき、事務局でまとめていただいた。それらは委員の皆様のお手元に配布している。それを踏まえて、おおよその方向性というものを引き続き議論を行い、検証結果の報告書にどのような形で盛り込むかを決定できればと思う。各項目の議論をする前に改めて、安心安全な花火大会の開催のためにはどのようなことが必要であるのかということを前提に議論を進めていきたいと思う。では、各項目ごとに議論をしていきたいと思う。お手持ちの資料の 1 に各委員の意見がまとめられているので、適時見ていただきながら進めていきたいと思う。

①花火大会の規模について、何か委員の方からご意見、ご感想はあるか。おそらく花火大会の規模をどうするのかによって次以降の検討項目にかなり大きく影響してくると思うので、参考資料の 1 ページ目に各委員の色々な意見がまとまっているので、これも踏まえたうえで委員の方々が考えていることやご意見はあるか。

委員：前回も言わせていただいたが、検証会議としては規模拡大の議論をしている。規模を拡大する場合に発数や時間、有料観覧席のことも含んでくると思うが、やはり河川管理者との合意や京都府の煙火消費許可、警察、消防等の各関係機関と協議しなければならないと思う。それが承認されるということが最低条件だと思ひ、検証結果で C 評価があったり、B 評価でも悪かった点があるので、検討の余地があると思う。それぞれが改善できるのであれば、拡大してもいいかなと思う。拡大する規模は関係機関との調整の結果で出てくると思う。

会長：他の委員の方からご意見はあるか。

委員：先ほどご意見があったように、確かに改善すべきところを改善して拡大していくのがよいと思う。多くの市民の皆様はもう少し長時間花火を見たいという意見もあると思うので他の花火大会の会場から比べると、福知山の花火大会の会場は全体的に狭い感じがする。亀岡の花火大会ではかなり広い場所で花火を見ることができる。立地条件からいえば、これ以上広げるとなれば、費用など様々な問題があるが、できる限り多くの人に楽しんでいただけることを大前提に、次回の花火大会をもう少し拡大した形で安心安全に開催するというのであれば、観覧できる場所をもう少し広くとれるような方法を考えるべきではないかと思う。

会 長：他に花火大会の規模について、委員の方からご意見はあるか。

副会長：前回会長が言われたように花火大会の規模に関しては、実行者や福知山市が決定すべき事項であるというように言われている点が大事だと思っている。検証会議というのは、花火大会の実行者ではないというスタンスを守りながら提言すべきだと思っている。そういう意味では抽象的に今回分かった課題が改善されるなり、条件が満たされるのなら、規模を拡大することも容認できるという程度の提言しかできないと思っている。具体的に発数や時間をどれくらいにするのかということまで踏み込むのは、あまり適当ではないのではないかという意見である。

会 長：他の委員からご意見はあるか。

委 員：私も同じことを考えていて、今回は安全に花火が終了したので拡大できると思うが、それは実行委員会が決めることであって、実行委員会から相談があれば、検証会議でも検討するというような書き方で終わるほうが無難であり、いいのではないかと思う。

会 長：他の委員の方向かこの点に関してご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：では、先程いただいたご意見や事前にお伺いしたことから、花火大会の規模に関して、安心安全に終了したが、現場検証の結果、改善すべき点があることや、関係機関との調整が必要であること、それと個人的な意見であるが、今は自動車免許でいえば仮免許で走っているような状態であり、11年間花火大会が無く、ようやく安心安全に実施できたが、それが来年もう一度できるといった保証は全くないので、仮免許で高速道路に行くような段階である。そのため、具体的な時間や発数は報告書に記載することはできないが、拡大は改善点が改善され、かつ大前提である安心安全な花火大会が確保できるのであれば容認ということになると思う。そのあたりの文言はこれから事務局と我々で精査していくと思うが、そのような方向でまとめることでよいか。

委 員：よい。

会 長：では、①花火大会の規模についてはそのような形で報告書に記載することになる。次に②市の関わり方についてだが、方向性として市が後援なのか、共催なのか、主催なのか、どのような関わり方をするのかといった議論になるが、何かこれに関して各委員の方からご意見などはあるか。

副会長：前回は申し上げたが、この件は検証会議というよりも福知山市自身が積極的に検討すべき項目だと思っている。今回花火を見た大多数の方が満足したという事実があったと思う。また、経済効果の分析も行っている。それから被害者等の方から少なくとも大きな反対は出なかったということがあるので、そのような点を福知山市が考慮して今回後援であったが、それ以上の共催ということも

含めてより積極的に関わるのかどうかということを検討していただきたいというような提言がいいと思う。

会 長：他に何かご意見はあるか。

委 員：副会長と同意見である。先ほど会長が言われた通り、まだ仮免許中ということもあるので、このまま後援なのか共催にするのかという議論ではなく、今以上に市が積極的に関わっていき、最終的には実行委員会と市が協議して決めていただけたらと思う。ただ、被害者の方に対して実行委員会の方もかなり接触して色々とフォローしていただいていると思うが、市も被害者の方にフォローしていただいたら良いかと思う。

会 長：他の委員の方から何かご意見あるか。先ほど委員が言われた通り、後援や共催といった方向性を決め切らずに、市や実行委員会、あるいは関係者が検討していく課題ということにする。その中に経済波及効果や被害者やご遺族の方への対応、花火大会のあり方を考える会で色々議論された内容などを踏まえ、市がどうしていくのか。花火大会をどうしてやるのかという理由の中に地域経済の活性化というのが入っていた。そのようなことも含め、市が市民の意見も聞きながら検討していくという方向性で報告書の記載をし、案を作成していただくということでよいか。

委 員：よい。

会 長：次に③有料観覧席についての議論に移りたいと思う。有料観覧席について、どのような形で検証結果を記載するか委員の方からご意見はあるか。

委 員：前回も言った通り、有料観覧席の設置には賛成である。別のイベントに関わったことで思い出したが、市が主催や共催であると席を販売するといったことができないということももしかしたらあると思う。

会 長：この点について、事務局は何かご回答はあるか。

事務局：市の主催イベントで有料観覧席等を販売したことについて、思い当たるものがないが、実行委員会形式であれば可能だと思う。

会 長：他に何か意見はあるか。

委 員：初めての有料観覧席については良かったが、アンケートの内容を見るとすごく意見が分かれている。「この値段はちょっとどうか」という意見や「有料観覧席がすごく良かった」など色々な意見があるので、もし次回同じように有料観覧席を考えているならば、マイナスな意見の所をできるだけカバーしていける内容にしていけばいいとアンケートの結果を見て思った。

会 長：他にご意見はあるか。

委 員：有料観覧席はすごく賛成であり、先ほど言われたようにダメだった所を改善していくのがいいと思う。ただ、気になる点があり、御霊公園側ばかり意識していると思うが、猪崎側の交通整理について、今後の堤防天端のチケット所有者

の部分にも関わってくると思うが、猪崎側は全く関与しないということでもいいのか。御霊公園側ばかり意識していて、猪崎側で何かトラブルがあった場合、実行委員会は知らないとなるのか。猪崎側でも有料観覧席くらい綺麗に見えるゾーンもあると思う。そのトラブル等については、市が関わってくると特に気にしないといけないと思うので、どこかでそれを検討していかなければならないと思う。

会 長：他にご意見はあるか。

委 員：先ほどの委員の話だが、多分反対側は保安距離があるため、禁止エリアになると思う。そのことは消防に聞いたほうがいいと思う。

会 長：消防から回答をお願いしたい。

消 防：先ほど言われた保安距離だが、グラウンドだった駐車場の所は保安距離の円に入るが、堤防上付近が境界である。実際に円を描いてエリアに入っているか、入っていないか、エリア外であれば観覧席にすることも可能である。

委 員：有料観覧席をするのかしないのかではなく、そこまで対策を打つべきだと思っている。例えば、橋の上は通行止めをしていたが、猪崎側がどうだったのかが分かってない。生活道路だと思うので、猪崎側の住民の人たちが椅子を置いて見る分にはいいと思う。ただ、今回御霊公園側を規制したことによって、猪崎側から見た方がいいのではないかなった場合、猪崎側に人が流れてくると思うので、そこも検討するべきで、そこまで範囲を拡大したうえで警備なども検討する余地がある。

会 長：警察の方も来ているので、もしお答えできるのであれば、猪崎側でどのような動きがあったのか、報告などがあればお伝えしていただきたい。

警 察：広小路側に人員を重点配置したので、猪崎側の状況が正確に把握できていないが、先ほど言われたように一定の雑踏について、人が集まっていたという情報は猪崎側の配置員から聞いている。会議の中で議論されていることだが、規模の面を含めて、規模拡大という話になってくれば、猪崎側も一定の対策が必要になってくると思う。

会 長：他の委員から有料観覧席やその他について、クリアにしておきたいことはあるか。方向性として、有料観覧席がどれくらい設定できるのか調査するとあるが、これについて事務局の方で何か調査はしているか。

事務局：前回その質問をいただいていたので、実行委員会の方に聞き取りをしている。仮に今年と同じエリアに席を設けて、今回はひとりひとりのスペースがかなりゆったり目ではあったが、間隔を少し狭めると想定としては 6000 人くらい収容できる。仮に有料観覧席の範囲をもう少し由良川の下流範囲に拡大すれば、最大で 1 万人収容できるのではないかと回答をいただいている。あくまでもこれは実行委員会独自の算出なので、参考という形で受け止めていただければと

思う。

会 長：他に委員の方からご意見はあるか。各委員の意見で有料観覧席に対してどうしても反対だという意見はない。もし、次回開催されるのであれば、有料観覧席を実施するという方向でも問題はないだろう。更に有料観覧席があれば、ある程度どれくらいの人数が来るのかということが事前に読めたり、計画が立てやすいということはあると思う。ただ、公共性というか、先ほど委員の方も言われたが、以前のように無料で見られるというのが、本当のあり方なのかもしれない。他の花火大会を見る限り、有料観覧席が日本全国の流れのように思うので、有料観覧席の項目について、各委員の意見をベースにしつつ、有料観覧席プラス対岸の猪崎側の話も含めて素案を検討していただければと思うが、そのような方向でよいか。

副会長：先ほど委員の方が言われたように、アンケートでは結構正反対の意見が出ているので、報告書をまとめるためにアンケートの内容を集約していただき、有料観覧席を作るのは良いが、このような課題が出ていて改善してほしいとすべき。この会議で何かしらの提言ができるのであれば、それも含めて書いていいと思うので、このような課題が出ているので、改善してほしいという内容でまとめるのがいいと思う。

会 長：先ほどの副会長からのご提案のような方向性でよいか。

委 員：よい。

会 長：では、その形で素案を作っていただき、次回議論していくということになると思うので、有料観覧席についてはこのような方向性でよいか。

委 員：よい。

会 長：次に④露店について話をしたいと思う。方向性としては、安全対策を徹底したうえで、露店を増やすということで話がまとまっていたと思うが、何かご意見あるか。11年前の事故というのは露店から始まっているので、かなり重要なポイントとなるし、あり方を考える会議でも重点的に話をしており、更に先週広島の小中学校でコンロが爆発したこともあった。やはりどれだけ気を付けても、しすぎることはないのが露店対策だと思う。市長に提出する最終の検証結果報告書にこういう文言を入れていただきたいか、そのようなものがあれば是非意見を言っていただきたい。

委 員：前回も言った通り、安心安全に開催できて火災等の事故が無かったのは、やはりIHや炭、市内業者が大きかったと思う。今回の問題点として雑踏、人が多すぎる対策をどうすべきかが焦点だと思う。そこをクリアにするためには、露店を増やすとか、配置を変えるとかでやっていけばいいと思う。あくまでも前回のような火災等の事故を防げたのは、IH、炭、市内業者というのが前提にあると思うので、それを条件にしたうえで露店の配置や露店数を考えていけばい

いと思う。

会 長：他に委員の方からご意見はあるか。

委 員：実際に御霊公園に行った際、すごい人で私自身歩けなかった。15 店舗が真ん中に配置されていた関係で人の列が放射線状に流れていて、列の最後が厚生会館の手前の歩道の所にまでいっており、危ないと思った。ベビーカーの方が本当に大変そうだったので、お店を増やすことで改善できるとも思えないし、どうすればいいのかが私もまだわからない。事故がなくて本当に良かったなというのが終わった後の感想である。夕方時なので、ここで夕食を食べようと思って来ている方も多いはずだが、多分食べられなかった方がすごく多かったと思う。

会 長：他に委員の方からご意見はあるか。

委 員：前回も言わせていただいたが、やはり花火大会＝夏祭り感が私にはある。固定概念かもしれないが、昔から花火があるところには露店があり、買ったものを食べながら楽しい時間を過ごしつつ、花火を見るというのが刷り込まれている。それが無かったら楽しさも半減するのかなと思うので、露店は増やしつつ、楽しみながら時を過ごせればより良いのかなと思う。

会 長：他の委員からご意見はあるか。なければ、方向性としては安全対策を徹底したうえで、露店数を増やすとする。ただ、委員の方が述べられたことや現地検証の評価がCであるため、御霊公園の所は改善する部分がある。店舗数を増やして安全になるのか、もっと悪くなるのかは分からないので、事務局でこの辺の各委員の意見を報告書に入れていただきながら、増やすのはいいが、安全対策や露店、雑踏というところを強調した素案を作っていただければと思うが、それでよいか。

委 員：よい。

会 長：では、次に⑤堤防天端のチケット所有者以外の立入りについて、こちらの方向性は堤防沿いの方に限定するのか、誰でも見られるようにするのか、人を入れるのかということも含め、何かご意見はあるか。

委 員：沿線の民家の方は外に出て見てもらっても構わない、制限ができないという意見があるが、沿線の自治会にチケットを有料で買っていただき見てくださいというのは難しいのか、他の委員からご意見を伺いたい。

会 長：他の委員からご意見はあるか。

委 員：京町から市民体育館前までの8つの自治会の自治会長に会議がある度に意見をお尋ねした。地域住民の方は花火大会の観覧席を有料化するという考えはない。堤防についてはある自治会長が言われたことだが、伊根の舟屋と一緒に家の玄関は海であり、道路に面しているほうは勝手口というような考え方がある。沿線の民家の人の生活では常に堤防を見て生活をしている。そこを通行止めにして花火を見られないような形にするのはちょっと問題ではないかと思う。生活

圏の地域住民からおかしいのではないかという意見がある。今回花火大会を安心かつ安全に進めるために、規制をかけたという話をしたが、中には先ほどのような意見を述べられた方が半数ほどいた。様々な状況の中で生活されているので、そのあたりの考慮をしていただければありがたいということと、もし、近隣の自治会に有料のチケットを半額で提供するなど補助的なものがあれば、花火大会に関するイメージが変わってくると思う。

会 長：先ほどのご感想についてご意見はあるか。

委 員：堤防天端のチケット所有者以外の立入りについてと書いてあるが、堤防天端を規制するべきだと思う。チケットの配布方法は色々あると思うが、あくまでも有料観覧席で見ていただくということにし、前提として堤防天端の上は、今回と同じように規制すべきという考え方ということで発言させていただく。

会 長：他の委員の方はご意見あるか。

委 員：どちらかといえば私は、意見にも書かせていただいている通り、規制しなくてもよいと思う。全てにおいて規制をするのではなく、時間によって規制を外すというのもひとつありかなと思う。なぜなら、以前も申し上げたが、花火開始の時間までは堤防に上がれなくしていたが、花火が揚がり始めた頃から、堤防の上に人を上げられていた。それを見ていたが、結局危ないということもなかった。危ないかどうかの判断については、初めから人がごった返すと有料観覧席に行くまでの所やゲートの付近で支障が出てくると思う。なので、最初のほうは規制をするべきだと思うが、花火が始まる 10 分前とか何分前からは一般的にも解放しますということでもいいと思う。

会 長：他に何かご意見はあるか。個人的な意見として、やはり堤防天端は規制したほうがいいと思う。もし、何か事故があった場合に速やかに救急隊や病気になった人の搬送、あるいは視覚的に堤防天端に人がいなければ、ここからが有料観覧席でここからはそうでないということが分かるようになる。堤防天端に人を入れたとして、ブルーシートやゴザを敷いている人がいたとすれば、非常時の際に妨げになるということもあると思う。やはり先ほども委員の方が言われたように、時間など何らかの工夫があると思う。自治会の伊根の舟屋の話と同じといえば確かにその辺りの事情もあると思う。委員の意見や今日の議論も踏まえて、事務局の方で素案を作っていただき、次回最終的な方向性をもう一度議論する方向性でよいか。やはり地域住民の半分の方がどうなのかということも、もう一度議論すべきことなのかなと思う。本日の議論で問題点が分かったと思うので、事務局の方で素案を作っていただき、それを次回検討していくということではよいか。

委 員：よい。

会 長：では、次に前回会議で広小路通りから堤防天端に向かう交差点での雑踏状況に

ついてを⑥-1 とし、広小路通りでの観覧者と歩行者の整理についてを⑥-2 として分けるということになった。⑥-1 に関して前回会議で警察からは、緊急車両用に交差点付近はスペースを空けており、交差点付近は見る場所として推奨をせず、緊急時の車両の通行などもあるという意見が出た。⑥-1 の方向性としてはどのように報告書にまとめるかという話になると思うが、広小路通りから堤防天端に向かう交差点での雑踏状況について、何か委員からご意見はあるか。

委員：警察から言われた通り、交差点付近は見る場所ではないということは納得するが、通路が狭かったので、そこをもう少し考えた配置は必要だと思っている。ボトルネックではないが、通路が狭くなっている分、結局そこで渋滞が起きている状態もあるので、もうちょっと緊急スペースを小さくするなり、スペースの確保は検討が必要と思う。

会長：他の委員からご意見はあるか。先ほど言われたように、通路の部分がネックになるということは承知の通りなので、その辺りの通路の確保かつ緊急車両の通行を最優先にしないとダメということもあるので、関係機関である警察や消防、その他関係機関と調整をして、雑踏警備について考えてもらうというような文言での提言を事務局の方にまとめてもらうということでは。

委員：よい。

会長：では、⑥-2 広小路通りでの観覧者と歩行者の整理について、これについて何かご意見はあるか。

委員：先ほどの有料観覧席の部分にも言えることだが、規制や制限をあまりしなくてもよいと言ったが、有料観覧席を購入された方が退出するときにごちゃごちゃしていれば、お金を払っているにも関わらず、なかなか出してもらえないではないかというクレームに繋がると思った。それと一緒に広小路通りもシートを敷いて座れるようになっていると、撤去してくださいとなってもすぐには動けない。そうなれば、スタッフや特に警察の方がそこに対して労力をかけなければならないと思う。できるならば、時間で区切って観覧ゾーンを作れたらすごくいいのだが、そこに対しての工夫がなかなかできないのであれば、やめるべきかもしれないと思う。何か対策をしてできるならしてほしいと思っており、できなければやめたほうがいいかもしれないと思う。

会長：他に委員からご意見はあるか。質問だが、11 年前は広小路通りではブルーシートなどを敷いて見ている人はいたのか。

委員：そこには露店が出ていた。

会長：露店があり、立ち見もあって、人が流れていたような状態であったのか。

委員：若い子が露店の裏に座っていたりした。当時はあまりルールがなく、自由な感じであった。場所取りは無かった。

会長：広小路通りでの観覧者と歩行者の整理については、11 年前はそれでよかった

のかもしれないが、今は分からないというような前提でやらないと安心安全に開催できない。今回は良かったが、次回は安全だとは言えないので、そこは21世紀のイベントを何かやるといった際、我々が思っているほど動いてもらえないということがある。その他にご意見はあるか。

委員：花火の20分間で通路のところがほぼ観覧ゾーンのような感じであり、立ちながら、歩きながら、座りながら見ていた。ゾーンを分けるのは難しいと思う。花火打ち揚げ中は歩行者も立ち止まり観覧していて、終わったら退出していた。

会長：他の委員からご意見はあるか。

委員：露店の関係の話も出てきたが、以前は左右に導線ができており、人が流れていた。今回のように御霊公園に露店があって、堤防までの距離がそんなに長くないとすれば、花火が始まったときに回遊する場所がない。どうしてもそこで止まってしまうということがある。ほとんどの人が止まって花火を見るということから、観覧する人を上手く流して回遊してもらえそうな場所を設定するような形にすれば、より多くの人に楽しく観覧していただけたらと思う。

会長：他の委員からご意見はあるか。

委員：広小路通りから花火が見えると思うが、綾部の花火大会は割と決まった場所でもなく、どこからでも見えるイメージがある。福知山の花火はあんまり見える所がないが、福知山城のほうからは見えるのか。

委員：隠れスポットは何ヵ所もある。

委員：どうしても集中してしまう地形になっている。それがもう少し分散すれば、もうちょっとゆったり見れると思うが、無理なら仕方がないとも思う。

会長：では、⑥-2のまとめ方としては、やはり何らかの対策は必要だということを各委員の方が指摘している。事務局の方には広小路通りでの観覧者と歩行者に関して、何らかの措置が必要であることを前提に素案を作っていただき、次回議論をするということでよいか。

委員：よい。

（2）花火大会検証結果報告書（案）について

事務局：資料3に基づき「花火大会検証結果報告書（案）について」説明

会長：事務局より説明のあった花火大会検証結果報告書（案）について、かなりページがあるため、ある程度項目を分けながら意見交換をしたいと思うが、委員の皆様それでよいか。

委員：よい。

会長：では、1ページ目のはじめにという部分に関して何か委員の方々からご意見はあるか。

委員：ない。

会 長：これは事実の記載であるため、これといって議論すべき点ではないと思う。では、3 ページと 4 ページの検証会議の開催等経過について、ご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：では、5 ページから 10 ページの議論の経過について、かなり詳しい部分もあるが、これに関してご意見はあるか。

副会長：第 5 回会議の議題の中に花火大会の今後のあり方についても入れていただくことになると思う。

会 長：そちらのほうを事務局に願います。他に 5 ページから 10 ページで何かご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：では、11 ページから 15 ページの検証結果について、何かご意見はあるか。結論である事故なく花火大会が終了したことは評価するが、改善を要する点もあるということや、上記のように判断した理由 1, 2 とあり、この辺りについて、個人的な意見であるが、結論に関してはこれでいいが、上記のように判断した理由が 2 つなので、何かまだあるかなと思う。私もすぐには思い浮かばないが、理由が 2 点だけというのは弱いかなと思うので、宿題ということで上記のように判断した理由というのを考えたいと思う。他にご意見はあるか。

副会長：15 ページの総括の部分と 16 ページ以降の今後の花火大会のあり方についての関係だが、特に規模では拡大することを容認すると総括されているが、16 ページ以降でも規模について、今後のあり方について何らかの提言をすることになるので、ここをどういう関係でまとめようとしていたのかを事務局にお聞きしたい。

事務局：今回の議論を行っていただく前までの経過をまとめたものである。前回の会議に段階的に容認という言葉が出ていたので、総括の中に入れてさせていただいた。本日議論をしていただいたことで 16 ページ目以降、再度構成を見直さなければならないと思うので、総括の整合性や整理については事務局で行い、委員の皆様のご意見も踏まえ、第 6 回会議で修正案を提出させていただく。

会 長：他にご意見はあるか。

委 員：全体的な話だが、花火の打ち「あげる」という漢字について、私の認識は「上」であったが、調べると「揚」のほうであり、統一したほうがいいと思う。資料の中でも「上げる」と「揚げる」の字があるので、誤字なのかもしれないが、チェックは全体的にさせていただけたらと思う。また、令和 7 年度も検証会議等はあるのか。

会 長：事務局の方いかがか。

事務局：今の段階では、花火大会がある場合は検証会議を実施する。その辺りの議論については、検証会議でも検討していただければと思う。現状としては、花火大

会がある時に検証をもう一度行い、今後どうするのかの検討もしていただきたいというように考えている。

会 長：他に何か委員の方からご意見はあるか。なければ、次回の会議までに事務局が素案を作成し、事前の説明で皆様に意見を求めるということになると思うが、それでよいか。

委 員：よい。

会 長：では、全ての項目についての意見交換を終了したいと思う。事務局にお願いとして、本日の会議結果を踏まえ、検証結果報告書（案）の修正と、16 ページ目以降の今後の花火大会のあり方についてのまとめなどを行い、検証結果報告書の修正案の作成をお願いしたいと思う。先ほど決定した 12 月 5 日の第 6 回会議において、検証結果報告書の修正案の検討を行いたいと思うが、委員の皆様それでよいか。

委 員：よい。

会 長：では、第 6 回検証会議で事務局より検証結果報告書（修正案）についての提案をお願い申し上げる。

5 その他

会 長：これまでの協議を踏まえて、委員の皆様からご意見はあるか。

委 員：ない。

会 長：ご意見がなければ、協議を終了する。

【次回会議】第 6 回花火大会検証会議は令和 6 年 12 月 5 日（木）午後 1 時 30 分を予定。

6 閉会